

Asia Indicators

発表日:2024年2月5日(月)

オーストラリア:消費者物価(23年10~12月)

～サービス価格の高止まりが一巡、4Qの消費者物価はRBAの想定パスを下振れる結果に～

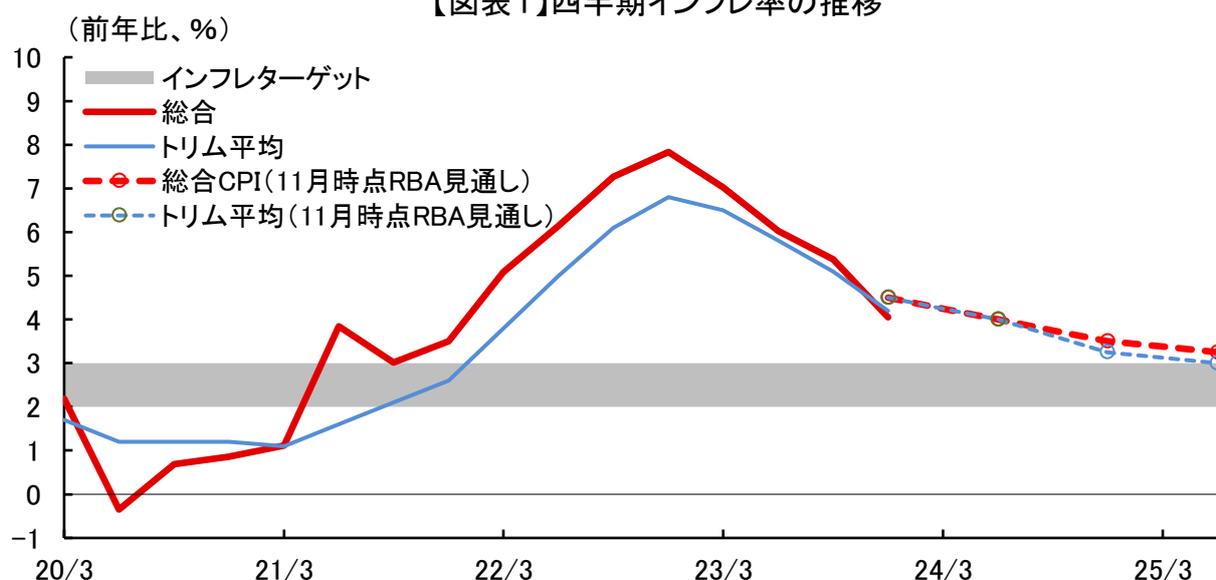
第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 阿原 健一郎(Tel:050-5470-4868)

オーストラリア統計局(ABS)が公表した4Q(10~12月)の消費者物価指数は、総合CPIが前年比+4.1%と市場予想(同+4.3%)を下回り、前期(同+5.4%)から予想以上に伸びが鈍化した。価格変動の大きい品目を除くトリム平均値も、同+4.2%と前期(同+5.1%)からは伸びが鈍化している。同日公表の12月の月次インフレ率も、総合CPIは同+3.4%と前月(同+4.3%)から伸びが鈍化していることに加え、ABSが月次インフレの基調の判断に有効としている「変動の大きい品目と旅行費を除くCPI」も同+4.2%と前月(同+4.8%)から鈍化した。

前期の3Q(7~9月)では、あくまで参考値という位置づけではあるものの、月次インフレ率が再加速する場面も見られ(8月前年比+5.2%→9月同+5.6%)、進捗していたインフレ抑制が足踏みしたかに見えたが、今回の実績でインフレ抑制は一步前進した形となった。オーストラリア準備銀行(RBA)の直近の11月見通しを確認すると、23年末時点で、総合CPIは前年比+4.5%、トリム平均値も同+4.5%としていたことから、今回の実績で想定していたパスを下振れて推移し、インフレ率の抑制が想定以上に進んだことになる(図表1)。

【図表1】四半期インフレ率の推移



(注)直近は実績が23年4Q、RBA予測は25年2Q。RBAは各年2Qと4Q時点の予測値を公表している。

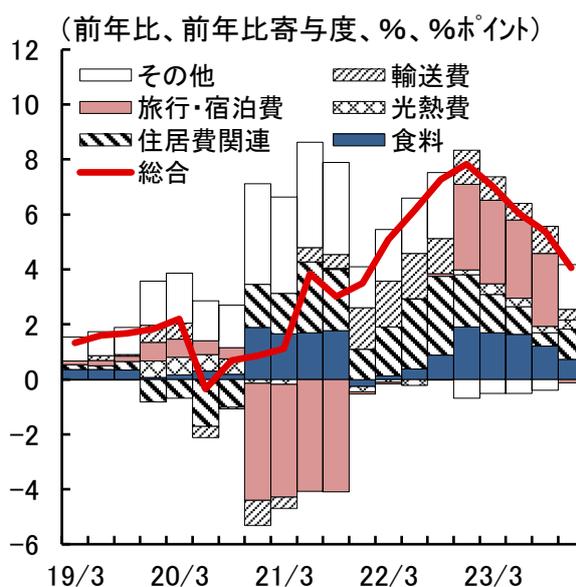
(出所)CEICより第一生命経済研究所作成。

4Qの総合CPIについて各品目の前年比寄与度を確認すると、インフレ率の押し上げ要因となっていた「旅行・宿泊費」の価格上昇が一巡した結果、寄与度がマイナスに転じたことが大きい(図表2)。原油価格の低下により、ガソリン価格を中心とした「輸送費」の寄与度が縮小したことも影響した。今期、寄与度が大きく拡大した「その他」には、主に、「アルコールとタバコ」(10~12月前年比+6.6%)、「保険および金融サービス」(同+8.1%)の価格上昇が含まれている。タバコの価格上昇は、23年9月からタバコにかかる物品税が増税されているためである。保険については、ABSによれば「保険料の増加は、自動車保険、住宅保険、家財保険全体の保険料上昇によるもの」としている。また、「住居費関連」も寄与度が前期から拡大しているが、賃貸市場が引き続き逼迫しており、家賃の上昇が継続している(同+7.3%)。

先行きは、インフレ率は引き続き低下するものの、鈍化のペースは幾分緩慢になるとみている。高頻度データで1月のガソリン小売価格を確認すると、前年比では伸びが幾分鈍化しており、1月の総合CPIは「輸送費」の寄与度が幾分縮小することが見込まれる。ただ、今期に寄与度が拡大したタバコや保険料の価格上昇は、少なくとも影響が一巡する24年3Qまでは総合CPIの押し上げに働くとみられ、「輸送費」の寄与度縮小や既往の金融政策の累積効果を相殺する形で、インフレ率の鈍化を遅らせることになるだろう。25年に、インフレ率がインフレターゲットのレンジに収まるかは、現在高止まりしている「旅行・宿泊費」や「家賃」などのサービス価格が再び上昇しないことが必要条件となりそうだ。

RBAは、直近の12月会合で、2会合ぶりの据え置きを決め、既往の引き締め効果を見極める姿勢を取った。先行きについては、「適切な期間内にインフレ率が目標に戻ることを確実にするために、更なる金融政策の引き締めが必要になるかどうかは、データとリスク評価がどう推移するかによる」と、利上げの可能性を残した。ただ、今回の消費者物価指数の公表を受けて、市場では次回会合での再利上げの観測が後退している。実績が想定するパスを下振れて推移していることもあり、市場予想通り、2月会合では政策効果の見極めに徹する可能性が高いだろう。

【図表2】総合CPIの寄与度分解(四半期)



(注)直近は4Q。寄与度にはウエイト効果を含む。
(出所)CEICより第一生命経済研究所作成。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。